

5・6年生 秋季リーグの結果

残念ながら1勝もできずに終わりました。しかし、5・6年生が心と力を合わせてレベルの高いゲームをいつも魅せてくれました。市民体育祭、期待できます。

○9月6日 狭間G

南八王子1-2シルク (前半0-0) 得点矢嶋君

さわやか杯後の最初の試合ですが、春日君がインフルエンザのため5年生の牧井君がGKに入りました。

その緊張感からか、全員に「シュートを撃たせない」という強い気持ちがあり、特に、榎本君がよく声を出し、中盤で厳しく動き回り、チーム意識の高い試合ができました。

後半、小山君のゴールキックを諸井君が頭で流し、矢嶋君がキーパーと1対1を落ちていて決めて先制しました。その後、2点は取られましたが、6年生がよい見本となり5年生も開始から終了まで気持ちを切らさず戦うことができました。

b y 伊藤コーチ

09・10・3 (土)
南NEWS NO26

○9月21日 狭間G

南八王子0-0白百合 (前半0-0)

開始早々から攻守に全力のプレーをする榎本君がチームを引っ張りました。

後半6分には諸井君、奈良君から榎本君に渡し、中央をドリブル突破で3人抜き、撃ったシュートは惜しくも、強烈にゴールのバーをたたきました。

南八王子0-2東八王子 (前半0-0)

両チームとも前半から速いアプローチでお互いになかなかいい形を作れませんでした。

後半、ゴール前のFKを春日君良くはじきましたが押し込まれ失点、最後の3分で白石君をMFに上げてBK3人として、点を取りにいったところ、カウンターでもう一点失いましたが、最後まで皆がよく走ったナイスゲームでした。

b y 伊藤コーチ

○9月22日 秋葉台小学校

南八王子0-2松が谷 (0:2, 0:0)

※秋季リーグのチームの目当て

- 1 素早いアプローチ
- 2 攻撃から守備の切り替え
- 3 パス&ムーブ
- 4 コミュニケーション



立ち上がりから南が押した試合でした。1分と3分に小山君がハーフライン付近からFKでシュートしました。5分白石君のパス⇒松浦君シュート。白石君クロス⇒矢嶋君ヘディングシュート。榎本君のパス⇒矢嶋君GKと1:1。7分矢嶋君ミドルシュートいずれもフィニッシュできませんでした。13分ペナルティーエリア左外からFKを決められてしまいました。17分また矢嶋君GKと1:1。18分センターサークル右手前で南のボールであったが焦り相手選手に2回連続で当ててしまいこぼれたところをシュートを決められてしまいました。19分諸井君FKをシュート。

後半は立て直し22分諸井君がFKでシュートバーに当たり、こぼれを牧井君がシュート。30分左から榎本君⇒國廣君⇒矢嶋君とパスをつなぎシュート。33分小山君のFKから榎本君がシュートこれも決まらず。特に、後半は押しっぱなしでしたがフィニッシュできませんでした。

南八王子0-0太和田 引き分け

立ち上がりだけ押されましたがあとは押しっぱなしの試合でした。

5分松浦君スルーパス⇒矢嶋君のシュートがバーに当たり、白石君が詰めましたがバーを越えました。9分榎本君ミドルシュート。10分小山君がドリブルからパス⇒白石君クロスを上げましたが合いませんでした。12分小山君ドリブルで上がりミドルシュート。19分白石君パスカットしドリブルシュート。

後半は25分奈良君が右サイドをドリブルで上がりクロス。30分諸井君のミドルシュートがバーに嫌われました。この後CKを諸井君ヘディングシュート。33分矢嶋君ドリブルシュート。37分奈良君ドリブルシュート。ポジションは8割ぐらいでしたが勝つことはできませんでした。

GK春日君は前日の試合で虫に目の上を刺され目の上を腫らせながらもがんばりました。今川君はディフェンスが安定してクロスの意識も上がっています。國廣君もディフェンスが安定してきました。小澤君も本来の動きが戻ってきました。青木君・牧井君は前線でボールを追い常にプレッシャーをかけました。

課題はフィニッシュとワイドな攻撃チームの目当ては試合のときだけ注意してもできません。練習の時から実行しないとできません。

b y 染谷コーチ

○9月23日 太和田小

南八王子1-2CBX (前半1-2)

前半7分、矢嶋君のスローインを諸井君が受け、もう一度走りこむ矢嶋君にパスが通り、そのままドリブルで持ち込んで先制しました。国広君は体格差のある相手エースにガッツで負けなかったし、横山君はFWで体を張ってボールを確保しました。相手GKが前に出ていることをよく見てシュートした白石君のプレーは、「5つ見る」ことを意識しているを感じさせました。

南八王子0-1陶鎔 前半0-1

「パス&ムーブ」と組み合わせ、「パスしたら動く」、「動いて空いたスペースに別の人が入る」という、試合前に原山コーチから教わった「攻めの厚み」を皆が少し意識できました。

後半、小山君が撃った、ドリブルで3人抜いてのシュートや強烈なFKは素晴らしかったです。

b y 伊藤コーチ

もう亡くなってしまいましたが、矢上は灰谷健次郎さんが好きで全集を含めて全ての作品を購読しています。『兎の眼』『太陽の子』『天の瞳』はいずれもテレビドラマ化されています。ぜひ、一読をお薦めします。

今は、11年前に出版された『いま、島で』を再読しています。灰谷さんの指摘の鋭さ、人間・生きとし生けるものに対する優しさに改めて感動しています。一部を紹介します。

…鶏を遊ばせる百坪ほどの草地に、畑にまいて余った種をあちこちばらまいていたのだ。

これは自然農法からヒントを得たもので、いわゆる雑草と野菜を共存させようというものである。

シャクシナ、山東菜、タカナ、ビタミン菜、カブ、ダイコンなど、草の間に元気に育っている。背だけは大きくならないが、見るからに精気がある。

食べてみて、その香気の一つよさにおどろかされた。野菜と人間をくらべるのはよくないかも知れないが、今の子どもたちは温室栽培の野菜といっしょなのかなとも思う。… 『いま、島で』 灰谷健次郎 p28~p29